（二十八日夕刊）

磐城新聞

休刊 大祭日 第一 第三日曜

定價 一ヶ月 六十錢 郵税 十五錢

廣告料 壹行六十錢

福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社

流動資本と景氣變動（下）

（ケンブリッチ大學教授ピグー原著）

（禁轉載）經濟學士　金成增彦譯

こゝで注意せねばならぬのは不況時代には當時よりも入口の方がふく徹底的に低下されるや否やを調整せねばならぬ。これは寧ろ反對である、前の好況時代に蓄積せられたる貨物は漸次減少する、一般消費が減少した場合生産者又は商人は在庫品を減少し又は原料の在庫品を減少させつゝ生産を行ひ註文に應じて行くものである、斯くて一般の消費量は減少せしにも不拘一方消費財の在庫品は減少する。これを他面から見れば好況時代には生産物が非常なる速度を以て消費せられ又在庫品も同時に增加するに對し不況時代には遲い速度を以て消費せられ同時に在庫品も減少して行くと言ふ事が出來る。この見解にして正當なれば不況時代には消費財の蓄積が行はれぬのみか好況時代に蓄へらした在庫品の數量さへ減じて行く。

六、然し以上の議論は國際貿易を考に入れなかつた、國が貿易を考へるならば如上の論は少しく變化せねばならぬ。一國が不況になれば他國に影響を及び、一國の物價が下落すればその國の輸入は減少し輸出は增加する、從つて金の流入が增加したり外正貨又は對外債權が增加する。金貨の流入及び對外債權の增加は正に現實なる蓄積である。生産者は貨物を外國へ輸出してその代價として金貨又は對外債權を受取つたのである。金貨や債權は勿論消費財でも生産財でもない。たゞ購買力である。されば不況時代に蓄積せしものは單に空想的のものに非ずして現實なる購買力である。然しこの貿易論は一義的なものでないことを一言して置きたい。それは國內産業に從屬的性質を持つものであるから。

七、不況時代に蓄積せられたる購買力はやがて好況を誘致する原因たる事は豫期せられる處であろう、それは決して現物の蓄積に非ざる事は既に述べた處である。若しさうならば米國の景氣は農作物の豐饒に歸因すと云はれてゐるが之は何を意味するや、農作豐饒が好況を誘導すると言ふ意味は農産物の在庫品の多きことが原因になるのではなくて豐饒が他の工業製品を多く需要するだろうと見る工業者や卸賣商が將來利潤多かるべしと豫想して註文を增加し又出産を增加する處にのみ好況は來るのである。

以上ピグー氏の論文である、自分は幾度か讀んで誠に底力のある說なりと思つた敢て不才を顧みずして紹介する所以である

八・二四・日曜日

高田橋竣成

近く渡橋式

平町より石城郡三坂村に至る縣道の澤渡村大字中寺地內好間川上流の高田橋は工費九千八百九十圓を投じコンクリートで架設中の處この程全く竣成したので近く盛大なる開通式を擧行することゝなつた

千葉主事轉動

平郵便局電話主事千葉新之丞氏は今回秋田郵便局に轉任三日赴任するが後任は仙臺局木戸太郎氏で今月三日着任する

―（今月今日）―

△楠正成笠置の安石所へ参り建武中興の業茲にはじめらる（元弘元）△堀田大老殿中に殺さる（貞享元）△トルストイ生る（一八二八）△穢多非人を平民とす（明治四）△鹽谷宕陰歿す（慶應三）窮貧にて刻苦精勵後名聲隆々幕末の鴻儒として稱せらる

講談

赤鞘安兵衛

東京　桃川燕二演

村田月光畫

（三十六）

安兵衛はこれから樋口十郎左衛門に伴はれ、眞庭村の道場へ同道致します、來て見ると總檜造りの大きな立派な大きな道場、此の道場からは天下に名ある外數劍客が出て居る、立派な道場で目が覺める程のものだが、今のところでは門人らしいものは一人も居りませぬ——武藝の世も末だ……その感慨も出る此處で安兵衛は弟子となり前後五年の間一心不亂となつて劍を磨いた、下地の無いものでも、外に門人がない樋口先生から手を取つて五ヶ年も敎はれば相當の腕前にもなるのですのに、安兵衛には立派に下地があります、鏡心明知流は菅野六郎衛門の道場にて極意皆傳まで受け居る、其上三年間の諸國修業。夫れ程の下地のあるところへ、五年間の修業是れで安兵衛等の腕前だつたらそれこそ盆倉なのですか、そんな事はない、十郎左エ門も之れならば最う大丈夫と見込みを付ける、安兵衛も我身を振返つて見ると、親の仇を運よく討つたものゝ、其時黑田郷藏如きにですら及ばなかつた腕前の時は未熟千萬な腕前であつたかと、冷汗が出る。……で長年住んだ師の道場を離れる事になりました。……臨んで十郎左エ門……扨、中山。五年の歲月は短い樣で長い。上州眞庭と思へば緣故の深い土地と云はねばなるまい、此の地に何かかたみを殘してはどうぢや……『有難い思召でありますが、かたみと申して……そと云ふ考へも思ひ付かずに居りますが……』『山名八幡宮は中山と揃名を結び付けた神樣。是れへ額面を奉納すると云ふ事は何うぢやな』……『イヤ、是れはよい思ひ付であります。一う云ふ額面を上げたものでありませう』——『其許は何と書いたがよい』——『恐れ入りました。字が上手と云ふ譯ではありませんが。拙筆にしろ記念に夫れがよろしいと存じます』——夫れでは早速白木の額面を誂へ、安兵衛腕を振つて——忠勇——の二字を認めました。筆跡の美事なることは申す迄もなくこのはつらつたる意氣が墨痕に示して居ります、此の額面は雨露に晒されること幾春秋、今以て眞庭の山名八幡宮の拜殿に。その……忠勇……が輝いて居ります。愈……上州を發足致しました。勿論溝口家へ歸參の叶ふと云ふ事は期待してゐない。祖父に當る菅野六郎左エ門との約束……五年を過ぎたら一ト先づ立歸れと云ふ、五年にトウに去り、國を出てから八年、されども菅野六郎左エ門は以前通り繁昌してゐるとの心得、お目に掛つたならば第一に御沙汰の詫をせんければならぬ　樋口の道場に於て多年の修業は定めし老體も御滿足のことだらう。そうした空想に耽りつゝ、立戻つて參つた越後路の御城下の入口、昔ながらの並木は今でも忘られぬ憧れであります。『許せよ』と並木の中程にあり掛茶屋へ入ります——『お出でなさい』——『酒が有らうかの』……『ヘエ、酒は極上等が有ります、一本手前共自慢のものであります』——『極上等夫れは結構だな、修業中五年間好きな酒を愼しんでゐた。是れから又祖父の許へ參れば無闇に酒を所望する譯にも參らぬ。此處まで參れば重荷を下ろしたも同然、緩くり飲んだ上で御城下へ飛込もう』……『えゝ何でございますか、御酒は上等の方が何なら中酒もありますが』……『イヤ、中酒だの上酒などと云ふものは好まん早速冷の上酒をつけてくれ』……『是へヘエ畏まりました』……『少々づつは面倒で不可ぬ、一升一度に飲むぞ』……『ヘヽ、一度に一升』……『然うだ。』

盂蘭盆會に就て（三）

最勝院住職　阿都崇順氏講演

この鬼神の中にも、善鬼神、惡鬼神。有福鬼神、無福鬼神等の種類がありますが、善鬼神とは福德具備で威勢もあり、通力もある、即ち諸天善神の如きもので譬へば藥師の十二神將七千夜叉の如き、又は般若守護の十六善神及び諸天眷屬の如きもの、或は護戒神。迦藍神の如きもの。又堅牢地神、水火神風神、虛空神、山林神、金神、宅神、天狗神の如き威力ある鬼神もあるとの事です。

惡鬼神とは疫病神。貧乏神の樣な邪神で、凡そ人間社會に殃禍を與へる神であります。が無福神と云ふのは人間に幸福を與へたり、殃禍を與へたりする程の勢力どころか、自身が喰ふに困つて居る鬼神であります。之れを名づけて餓鬼といふのであります。

四、目連尊者の母

善い事をすれば善い果報があり惡い事をすれば惡い果報の來るのは當然の結果であるが、善事があつても惡の勢力に壓倒せられて自然消滅となり、又惡事を多くなせば善業があつても惡業の爲に壓倒せられて自然消滅となつて了ふ傾きがあります。それ故懺悔すれば無始の罪障も消滅して了ふと說くのであります。之れ即ち善惡に定まつてをる自性のない證據と云ふべきであります。目連尊者といふお方は、釋迦如來の十大弟子の中で、神通第一と呼ばれてゐるお方でありましたけれども、初めは私共と同樣で、行基菩薩の歌に

ほろ〳〵と鳴く山鳥の聲聞けば、父かとぞ思ひ母かとぞ思ふ。

とあるが目連尊者も此の歌と同じやうな感じをもつてゐられたらしい。只鳥の聲ばかりではない。私共は障子一重の向ふさへ見えぬ凡夫の眼であるから。どれがどれやらが僅かに解らないのであります。まして稀に人間と生れ作ら慳貪邪見、して、佛とも、法とも、僧とも、辨へ知らぬ勝多しい前生の父母であつたとすれば。如何に佛樣がお淨土に往生がさせたい爲、是非共に迷ひの根を切つて悟りの道に引入れんと、心の思ひ絕ねねども緣なき衆生は度し難しで淨土參りの手引に漏れて、放逸邪見に日を送り、そのまゝ地獄にも落ち、餓鬼にもなり修羅の街にも彷徨ひ畜生道にも沈み居る者もあらう。實に哀れにも傷ましい事である。

されば目連尊者も佛弟子となり阿羅漢果と云ふさとりを開かれまして、初めて神通力を得られましたが、もう此の時には尊者が疾くに其の母樣を現はれて居つたのですが、それ以前には私共も互と同じく母の在所が分らなかつたのですけれども、神通自在の證りが開けて見れば、六道四生の中が掌を見る如くに知られたのであります。

映畫欄

志波監督ら重傷

『旋風時代』ロケ椿事

帝キネの秋季大作『旋風時代』で大久保利通（橘光造）乘用の古くさい四頭立馬車を見付けるのに困り京都市を探し廻つて骨折損に終つた末手近の奈良で漸く發見、志波監督以下大喜びで二十三日之を用ひて奈良市內でロケをやつたが何しろ明治二十年建造と言ふ曰くつきの馬車だけに古ぼけてぼろ〳〵になつてゐる。そこへ中江良介（西鄉隆盛）大久保利通（橘光造）を始め志波監督立花技手外俳優助手等十三人が乘り込んで『それ行け』とばかり勢よく走らせたから堪らない、十數間走つたかと思ふや、俄然轉覆立花技手はカメラの下敷になつて激しい打撲傷を負ふし、志波監督その拍子に足腰所[illegible]はすりむかれて治療一週間の負傷に直ちに手當を加へたが、あと二日の完成を控へてこの椿事に撮影所は『旋風時代』以上の騷動を演じたが一同微傷を負ふた

逗子を選んで

『脫線息子』ロケ

ユーモラスな海濱ラヴシーン

『新家庭双六』に於て初めて結び付けられた佐々木邦氏と曾根監督杉狂兒と云ふナンセンス映畫の名トリオに依る新作品『脫線息子』は篇中のユーモラスなラブシーン撮影の爲め、この程相州逗子箱根に向け出發した。これは原作通りの土地を選んだもので佐々木氏の輕快に描寫された同じ場面を曾根杉がどんな風に映畫的に表現するかけだし見ものたるを失なはない一行は曾根監督杉狂兒を始め十數名である。

天瑞院新盆に相當り候へ共提灯其の他御贈與午勝手御辭退申上度候間惡しからず御承引被下度願上候

平町
松月堂　金子重次

開業披露

接待……アイスコーヒー
ウーロン冷紅茶

美味で評判の　レストラント

何卒御光來の程を

平町　㊐ホール第二支店
四倉銀座
電六八

診療　夜間

胃腸　花柳

內科　十二指腸蟲病　專門　內科部
淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部

松村胃腸病花柳病科醫院
（平南町電話一〇七番）

皆樣の!!

昭和タクシーは此際御得意樣本位に貸切料金の値下斷行

何卒御用命を

平驛前　電三四三（サシミ）
澤正路

貸地廣告

平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります。然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします

御希望の方は電話なり葉書なり下されば社員が御伺ひして親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

良品廉賣に勝る商略なし

金物問屋
和洋銅鐵
磐城セメント特約代理店
㊇釜屋商店

磐城國平町五丁目
電話九番・一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は㊇の生命なり

㊇安價輕便
實用的冷藏庫の特價提供……

㊇特長

一、安價にして輕便且つ堅牢で大衆向きであり眞に實用的の容器であります。
二、絕緣材料として優秀なる山形ルーフイングを使用してありますから氷の消費料極めて僅少で非常に經濟的であります。
三、小型冷藏庫一個の重量僅かに一貫五百匁位ですから野外携行用とし又旅行用として飲食物其の他、殊に牛物の保存運搬に頗る便利であります。
四、病院又は各家庭に於ける病室用として至極輕便にして重寶であります
五、嚴寒の節には保溫器として用ひられ御飯其他日常飲食物の溫かみを長時間保つ事が出來ます

㊇冷藏庫の寸法

大型　間口 一尺五寸　奥行 一尺二寸　高サ 一尺一寸　定價七圓五十錢
小型　間口 一尺二寸　奥行 一尺　高サ 九寸　定價五圓五十錢

釜屋商店器物部

美味にして強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす

スッポン飴

スッポン飴　一圓　二圓
スッポン酒　二圓
スッポンヘモクロビン錠　三圓

平町五丁目角
山野邊藥局

專門　內科一般

內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五
川井內科診療所
電話七二二番
醫學士　川井重之
女醫　川井安子

郡内粒選りの猛者が
高月臺上の跳躍
縣大會の出場選手權を握る
けふの聯合体育大會

石城郡聯合青年團主催郡聯合青年体育大會は既報の通り今二十八日午前九時から磐中グラウンド（柔劍道は道場）に於て開催した、生憎雨あがりの事とてトラック、フキールドはコンディション頗る惡かつたが當日の優勝者は來るべき縣聯合の青年体育大會へ出場する選手權を穫ち事となるので各選手の跳躍も物凄く觀衆をして手に汗せしめた、一應迄判明の分次の如し

柔道　一等佐藤八郎（内郷）二等齋藤安之丞（小名濱）三等黑羽定三（内郷）四等安齋利三郎（平）五等半野秀雄（勿來）

劍道　正補二組に分け正選手豫選A組一等嵐正三（植田）二等江尻利雄（泉）三等出田管雄（好間）B組では一等出子三郎（三坂）二等鈴木正（高久）三等松本菊蔵（平）正補劍道選手平三十四人

陸上競技

走巾跳　一等佐藤竣介（藤原）六米十三、二等西田武夫（湯本）六米〇四、三等畑山茂（内郷）五米七四四等曾田源一（大野）五米六六、五等會田龜太郎（平）五米五七

砲丸投　一等佐藤竣介（藤原）十二米八三、二等西牧清富（内郷）十一米七　三等鈴木貞蔵（湯本）十米九〇、四等山内龜代司（草野）十米七〇、五等山下卓（神谷）十米六三

一萬米　一等高橋正三（内郷）三七分三五、二等渡藤政亮（湯本）三等九山恭造（平）四等猪狩四郎（神谷）五等大和田勝二（高久）

百米豫選　ABCに分ちその内A組一等十二秒木田谷平、二等白石光次B組一等十二秒九石田伸六郎（平）二等鈴木忠代治（小川）C組一等十二秒二西田武夫（湯本）

千五百米豫選　A組四分五四秒七川角喜八郎（平窪）二等鈴木幸平（大浦）三等高橋武雄（内郷）B組一等四分五八秒五泉美一（好間）二等江尻茂（藤原）三等長塚廣松（赤井）C組九分七秒四、一等清野勇治（湯本）二等小野初太郎（渡邊）三等折笠儀茂（平）

四百米　A組一等五八秒四石田伸六郎（平）二等大槻義雄（好間）B組五九秒七一等伊田雪夫（湯本）二等坂本誠（大浦）C組一等五九秒鈴木武雄（内郷）二等鈴木春雄（夏井）

八百リレー　A組一分五一秒七　一等猪狩留松（大浦）二等根本太郎（赤井第一）B組一分四七秒七一等石田伸六郎（平）二等西山洪（草野）C組一分四三秒七　一等西田武夫（湯本）二等小池敬一（内郷）

百米決勝　一等十一秒八西田武夫（湯本）二等木田谷平（小名）三等西出伸六郎（平）四等出内龜代司（草野）五等白石光次（内郷）

陸上競技一時までの總點數一等（湯本）二等（内郷）三等（藤原）四等（平）五等（草野、小名濱）

相撲　一等下坂東五郎（好間第一）二等小林久吾（平）三等高橋強（平）四等江尻茂（泉）五等松本新作（草野）

体育大會競技成績
その後の分

百米　一等（湯本）西田武夫十一秒八、二等（小名濱）木田谷平三等（平）石田伸六郎四等（草野）山内龜代司五等（内郷）白石光治

四百米　一等（平）石田伸六郎五十六秒五、二等（内郷）鈴木武雄三等（大浦）坂本誠四等（好間第一）大槻義雄五等（湯本）伊藤雪夫

千五百米　一等（好間第一）泉美一四分三十秒四、二等（渡邊）小野初太郎三等（平窪）川角喜八郎四等（内郷）高橋武雄五等（藤原）江尻茂

走高跳　一等（内郷）鈴木武夫一米五八、二等（大野）會田源一一米五五、三等（湯本）中山喜雄一米五五四等（好間第一）志賀忠郎一米五五、五等（植田）鷲文治一米五〇

八百米リレー　一等湯本チーム一分四十秒八、二等内郷チーム、三等平チーム

各團得點　（陸上競技部）内郷（二八）湯本（二五）平（二五）藤原（一一）好間第一（九）大野（六）草野、小名濱、渡邊（四）神谷、大浦、平窪（三）高久、植田（一）　（以上）

（武道部）平（一三）内郷（八）好間第一（六）三坂（五）小名濱（四）大浦（三）泉、植田（三）勿來第一、草野（一）

優勝團　陸上競技は内郷村青年團、武道は平町青年團

農業經濟合理化話

安城農村學校内にて（七）

薦谷久太郎　投

富民協會が多大の費用を投じ農村振興に力を致し國家の爲に貢獻して居る事は衆知の事實である殊に疲弊其の極に達せる農民はあだかも沙漠にオアシスを見出したが如き感を深うして居るものであるあらゆる面よりのけもの扱ひされてる農業界第一の指導者と云つても過言ではあるまい、農村の振興は農村の人々自身にあると云ふ見地から各縣より三名づゝの精農な青年百三十八名を日本デンマークの稱ある安城の地に開催されたる事は實に意義深いものである。不肖幸にして縣三名の縣知事の推薦の中に加へられた光榮を中心より感謝すると同時に、甚の責任の大なるを覺へ講習によつて得たる知識と實地見學並に實習によつて得たる體驗とによつて、農業經營に組合組織の合理化に精神生活の向上に全力を擧げてこの光榮に報ぜんとする考へである。碧海郡が今日ある所由のものは實に指導者が犠牲的精神によつて毀譽褒貶を度外した其の熱心の賜であるそれが人を動かし人の和を作り上げた賜である、眞面目な自覺せる農民が團結した場合其處に自ずて立派なるものが出來上るのである、碧海郡の人間が必ずしも偉く智識が他に比して勝つて居るとは思はれぬ、かの板倉源太郎氏の如き實に無學もん盲な人であるが、皆せに成るものである要はなさんとする氣分である、吾等は確固たる理想と信念とによつて農村の振興を計らなければならない。全國の六割を占むる農業が疲弊して居る國家の隆盛を誰れが望み得られようぞ（東京にて）

――（本社附記）――

昨今も日本のデンマークと呼ばるゝ愛知縣安城町に農業夏期大學やら、農業改善研究所を開設しつゝあるのも是等は智的方面、精神的方面から、專ら農村を振興せしむる所以であらう。智識や才覺は他人から貰ふ可きものではない。此れは銘々に工夫せねばならね。但だ其鍵だけは之を教育示導に力に仰がねばならぬ。（二十七日東京日々夕刊々たより抄録）

空軍東北根據地に
泉村附近を物色
近來耳寄りな話さ
關係地元氣色ばむ

海軍々備縮少で必然的に空軍充實の計畫が進められるものと見られてゐる折柄最近に至り泉村から瀧尻を經て小名濱町に至る平坦地域一帶を空軍東北根據地の有力な飛行場候補地として擧げられてゐると傳へられたので此れを知つた小名濱町を始め地元町村は萬一實現すれば單に地元の喜びだけで無く實に全縣下の新欣であると言ふので噂さの眞相調査の上猛運動を開始せんとしてゐるが此れに就いて某有力者は『軍事機に關する事ですから何の程度まで實現性あるのか無いのか明しませんが萬一當局にかの計畫があるとすれば全力を擧げて指導實現の猛運動を起します』云々と語つてゐた

四倉濱で
鰹大漁
全町活氣づく

昨二十七日四倉沖合航走中の海面に鰹の大群來遊し四倉濱一帶は我の出漁船で時ならぬ混雜を呈した漁獲高次の如し

一、六〇〇尾鈴木助治一、〇〇〇宛新妻春松、長谷川榮治、長谷川尻治郎、石井鐵二郎

尚ほ紋波元太郎氏も今廿日八八千尾の漁獲で入港したので四倉濱は大に活氣づいてゐる

延びかけた毒手に
危く虎口を免る
女優生活に憧れた
純眞な小名濱の娘

小名濱町田中テル（二八）は巡業の活動寫眞や新派劇などによりステージに見る女優の華かさに憧れ少くとも二の位表情に富んだ顔相を持つて居れば大丈夫と間がな隙がな將來女優としての大成を夢み花の東京へ進出の機會を覗つて居た處さき頃東京市小石川區原町一二清水宗治の名で活動女優及事務員がほしいと云ふ本人に取つては如何にも誂へ向きの廣告が某新聞に出て居るのを見つけ待つてました、ばかり保證金として粒々辛苦の結果貯蓄した二十圓を送つた處其の後一向女優に採用の音沙汰なくその筋へ申出たのが端緒となり石猾水宗治（三〇）は前記テルより保證金を詐取したくはほんの生やさしい方實に合計一千八人の女優志願者を田舍廻りの劇團に賣り込み更に大口な處では下谷區二番町一二四竹内良男（二八）から保證金として二百圓を捲き上げた外同様手段で六人の事務員志願者よりそれぐの額の保證金を詐取した事發覺。二十六日その筋に檢擧された

日本ライン降り
―二十六日―

日本八景日本ラインを降る、上高地と對照又頗る妙なるものあり（山田）豪快の氣分横溢す（千葉生）桃太郎の出生地を見る…（松本）

逆旅兄

ミスオホサカ
大阪にて
北見晴雪
（三）

僕はあわてゝ足一後に片付ける。バス。のストツキングを强く僕の股にぶつ付けた。居眠つて居た筈の彼女の瞳と僕の瞳の衝突僕は本の際から彼女を盗み見た。彼女はかすかに瞳を開いて僕の顔を見てゐる。僕はあつたる事ではないと思つた彼女のほゝ笑みさへ見ねられはない。もう僕は勇敢にバス腰をまかせる事が出來なかつた。だが目的地―はまだ間がある。試に僕は立止つた。すると、どうだらう。彼女も立つてゐるではないか。僕の立場が急にあやふくなつて仕舞つた譯である。下車したものか踏み止つたものか、全く迷つて仕まつた。が、立止つた以上はおりねばならぬ。

「一次ストップ――」

と叫んで僕はさつと飛びおりた。彼女も下車した樣子である。愈々大變である。獵奇的な心もない譯でもなかつたが僕は大阪に歩き出した僕が急げば彼女も急ぐ問題が愈々起りさうである小暗い露路に一寸這入れば

「―ハロウ―」

と呼びかけられさうである。僕は内心面白くもあり又恐ろしくもあり一路阪急電車に向つて急いだ。

譯は之れ丈け……。

さて問題の女はそれからどうなつたか知らぬ。僕末だに彼女のセツクスアツピールなイツトを忘れる事が出來ない。ステッキガールかそれともストリートガールか??

これは大阪の出來事である。

踊り子のグロースが破れたので……と題した漫畫、これも大阪の某ウエクリー紙のみ載したものである。

先づ八月增大號と云ふ八月三日發行の『週刊××』十六ページを御覧なさい、もつとひどいのに『一滑稽新聞』と言ふのがある。表紙のエロチイツクだけで澤山だ。それが公々然とどこの本屋にも並べてあるのだから驚く、純眞な子供があれを見たらどうだらう。

××公園の午前零時、ベンチの上でエロ劇の展開これも大阪の名物となつた。

××ホテルは未婚男女のネツキング場所である。これも大阪。

大阪は不可思議なところである。

大阪と言ふ處。

グロとエロとプルとプロのカクテルだ。

檢視事項

四倉に頻發
半月で十三件

四倉署管内に於ける本月十七日より廿六日迄の變死者並に負傷者は溺死三名、自動車轢死一名、感電即死一名、負傷者六名、計十三名で一日平均一人弱の割合であると

暗の惑溺
意外に繁昌する
平花街實相
例年より少しか約三百名
冬分へかけて增加の見込
全盛は各カフエー

罪惡の花が咲くてふダンスホールの設どこそなけれ、蓄音機から流るるフオツクス、トロットの好調は夜每艶冶な男女をひきつける灯の明るいカフエーと云ふものが今や二十軒以上もある程に平町も開けたものだ、雪白のエプロンも胸飾くきりゝと縮しあんにやきん達嬌驕な的となつてゐるを給の而る滋雁な處を歴入れる事が昨今平町各カフエー共通の流行となつて之が影響はやがて新田町から南町さては五色町の遠きに迄波及してその侮るべからざる商賣上の蠶食振りは明かに數字的にその間の消息を物語つてゐる、即ち之れをこの方面に働く各階級の女性の數に就て見ると平町現在の藝妓數は大少約百名で例年の今頃に比べるとざつと一割の減少つぎは南町の暗に咲く白粉の花之が現在七八十名の少數で去年九十人から百人近くを算した當時から見ると減ったと云はねばならない更に女給の脅威は前記新田町と南町のみに止まらず長驅して五色町方面の消長を見る＝現在僅に四十八名のあたま數で之亦可なりの減少率を示してゐる。尤も前記各方面の減少理由は之のみを擧げて悉く女給の蠶蝕にのみ歸することが出來ず勿論昨今の不景氣に影大原因を發してゐるものと觀ねばならぬが女給の跋扈も亦否むべからざる原因の一つで平町現在の藝妓酌婦は不景氣と女給の跳梁と兹許腹背に敵を受けてゐる形ちであるが女給を除く之等の總數が實に二百數十名の多きに達しエプロン組を加へると優に三百名に近く而も大して過剩の觀なしと云ふに至つては平町の繁昌は未だ以て微に悲觀するにも當らない位景氣勢なものであるに新田町界隈には冬分へかけ夫々增員の計畫があり南町方面でも殆ど同様の運にあると云ふに至つては他方面の一般とは異なつて平町花街の實相は時節柄意外の繁昌振りと云はねばならない。

明日の吉凶

舊曆七月六日　新曆八月廿九日

▲一白の人　分に叶ひた事には大吉の日開店起業皆吉▲二黑の人　運氣强大にし諸願成就すべし入學就職吉▲三碧の人　多くの雜事入り込み來りて内に助け少き日▲四綠の人　行詰りある日別に進路を求むべし飲食注意▲五黄の人　自ら愼む事強ければ衆望集りて[illegible]見る▲六白の人　朋友の助けありて存外の光榮に浴する吉日▲七赤の人　幸福の人よりも不運の人を見て自省すべし▲八白の人　催せし陽氣が次第に增進し吉福を招入る日▲九紫の人　焦立ち衝突を生じ易き日新き事は特に凶

吉田易學研究

拈華微笑

□ 雨、初秋の高月臺上運動の跳躍を阻んだを憾む

□ 危かつた小名濱の娘　良き寶物教育である

□ 三百名の女性がイットを發散。平町の夜なき哉

□ 汽車や商船とその吐く煙を等分に機上から眺めと云つた寸法

泉に空軍根據地の噂

□ 炭の事務所移轉。山登りが無くなつて月賦の靴をへらさぬ丈けも大した節約だッ

二十七日發行某新聞紙上に恰も當校が經營困難の爲め、教員三名を馘首したる事に端を發し全校生徒間に不安の空氣漲りつゝあるものゝ如き記事掲載相成候處當校に於ては教員を馘首したる等の事實無之隨つて生徒の動搖等絶對無之候間御省念相成下度以紙上謹告候也

八月二十八日

福島縣平町
藤田女學校

亡妻新盆の處時節柄提灯其他の供物一切乍失禮御辭退申上候

平町田町
市原卯太郎

御中元御贈答品には
[illegible]

三井の商品券

三井吳服店

◎コークス大々的値下斷行……
從來一俵金壹圓貳拾錢ノ
東京瓦斯コークスヲ
金九十五錢ニ値下致シマシタ
一家ノ經濟ハ臺所カラ
◎使ヘ馴レバコークス程經濟ナモノハアリマセン
◎使用法ハ參上御説明申上マス
配達迅速御注文ハ一俵ヨリ御屆ケ致シマス
昭和五年七月一日
電話一一三七番
平驛前
阿部石炭商店